

令和6年11月14日  
環境生活部県民生活課  
043-223-4165

## 令和6年度「ちばコラボ大賞（千葉県知事賞）」 表彰事例の決定について

県内には、様々な団体がその特性を活かし、連携して地域課題の解決に取り組んでいる事例が数多くあります。

県では連携による地域づくりの促進を目的に、他のモデルとなるような優れた事例を「ちばコラボ大賞（千葉県知事賞）」として表彰しています。

14回目となる今年度は、3事例を表彰することに決定し、12月12日に表彰式及び事例発表・交流会を開催します。

### 1 令和6年度「ちばコラボ大賞」について

(1) 目的：他のモデルとなるような優れた連携事例を表彰し、連携の重要性や効果を広く県民に周知することで、連携による地域づくりの促進を図る。

(2) 応募件数：22事例

(3) 表彰事例：3事例（概要は別紙に記載）

① 事例名：人と人とのつながりや、心の関わりを大切にした地域交流拠点事業  
～こどもを中心に繋がる地域の輪～

地 域：佐倉市

連 携：14団体

② 事例名：みんなの心のよりどころ「ホッとステーション」

地 域：山武圏域及び千葉市

連 携：119団体

③ 事例名：茂原七夕まつり<sup>せぶんていす</sup>70th ゴミ減プロジェクトwithペットボトルキャップ<sup>きゃっぷ</sup>リサイクルで”未来を変えるCapoon!!”企画・製造・販売  
～住み続けられる街づくりとサーキュラーエコノミーの実現を目指して～

地 域：茂原市

連 携：6団体

## 2 「ちばコラボ大賞」表彰式及び事例発表・交流会

(1) 日時：令和6年12月12日（木）

表彰式 午後1時30分～2時

事例発表・交流会 午後2時10分～4時50分

(2) 場所：ホテルプラザ菜の花（表彰式 4階 榎、事例発表交流会 3階 菜の花）

## 3 取材について

- 表彰式会場（ホテルプラザ菜の花 4階 榎）及び事例発表・交流会（ホテルプラザ菜の花 3階 菜の花）にて、取材が可能です。
- 取材を希望される場合は、12月11日（水）までに①報道機関名②担当者名③来場人数を、メール又は電話にて御連絡ください。  
連絡先：千葉県環境生活部県民生活課  
メール：npo-vo@mz.pref.chiba.lg.jp  
電話：043-223-4165
- 受賞団体に取材を希望する場合は、事例発表・交流会終了後、会場にて取材いただけるよう調整しますので、連絡時に御連絡ください。（会場の都合で、時間に限りがある点を御承知おきいただくと幸いです。）

## (別紙) 令和6年度「ちばコラボ大賞」表彰事例(3事例)

### 1 人と人とのつながりや、心の関わりを大切にした地域交流拠点事業 ～子どもを中心に繋がる地域の輪～

【実施団体】○特定非営利活動法人せんなり村  
○幼保連携型認定こども園 千成幼稚園 ○千成自治会  
○佐倉ライオンズクラブ ○佐倉ロータリークラブ  
○岩渕薬品株式会社 ○株式会社常磐植物化学研究所  
○株式会社ジョイネット ○株式会社ジィ・シィ企画  
○株式会社わくわく広場 ○JA ちば未来中央支店  
○敬愛短期大学 現代子ども学科 ○佐倉市企画政策部企画政策課  
○さくらあったか食堂ネットワーク

【分野】保健・医療・福祉、子どもの健全育成

【活動の概要】NPO 法人、幼稚園、自治会、企業・団体、大学、行政が連携し、地域の幼稚園の園庭を活用したこども食堂や居場所づくりに取り組んでいます。周囲との連携や協力体制を築き、乳児から高齢者までの誰もが安心して訪れやすい拠点を目指して、地域の中で人と人との心が繋がる新たなコミュニティを創出しています。



こども食堂のクリスマス会



コミュニティサロン

【団体HP】 <https://sennari.ed.jp/pages/75/>

## 2 みんなの心のよりどころ「ホッとステーション」

【実施団体】○みんなの心のよりどころ「ホッとステーション」

事務局：特定非営利活動法人リンク

(医療福祉機関 65 団体、飲食店 7 団体、公共機関 6 団体、教育機関 13 団体、  
寺社 4 団体、商工団体 18 団体、観光関係団体 6 団体  
計 119 団体 [2024 年 7 月末現在])

【分野】保健・医療・福祉、まちづくり

【活動の概要】山武圏域・千葉県内の多様な機関・団体と協同し、いたるところに『気軽に居てもいい』居場所（ホッとステーション）を設置。市町村の枠を越えて地域の誰もが活用できるとともに、協同機関同士のネットワークや相互連携が図れる、人と社会が共に繋がる地域社会の実現を目指す取組です。



ホッとステーション、クールステーションのロゴ



設置したベンチでの交流

【団体 HP】 [https://npo-link.jp/hotto\\_station/](https://npo-link.jp/hotto_station/)

## 3 茂原七夕まつり<sup>せぶんていす</sup>70th<sup>きやっぷーん</sup>ゴミ減プロジェクト with ペットボトルキャップリサイクルで “未来を変えるCapoon!!” 企画・製造・販売 ～住み続けられる街づくりとサーキュラーエコノミーの実現を目指して～

【実施団体】○千葉県立茂原高等学校 Team<sup>も こうまちじゅく</sup>茂高街塾

○茂原商工会議所 ○昌和プラスチック工業株式会社

○房総サーキュラーエコノミー推進協議会

○旭紙業株式会社 ○茂原市経済環境部環境保全課

【分野】まちづくり、環境保全

【活動の概要】学校、商工団体、企業、行政が連携し、茂原七夕まつりのごみ問題解決に向けた、ペットボトルキャップを再生利用したリユースできるスプーン  
“未来を変える Capoon(キャップーン)!!”の企画・製造・販売、分別  
ごみ箱の制作・設置。七夕祭りのごみを減らし、住み続けられる街づくり  
とサーキュラーエコノミーの実現を目指す取組です。



ペットボトルキャップを  
リサイクルしたスプーン  
(“未来を変える Capoon!!”)



七夕まつりの分別ごみ箱



プラスチック加工会社と  
高校生の打合せの様子

【団体HP】 <https://cms2.chiba-c.ed.jp/mobara-h/>

# ちばコラボ大賞 事例発表・交流会

千葉県内では、福祉や環境、子育て、まちづくりなどの様々な分野で、市民活動団体、企業、学校、地縁団体、行政機関などが連携して地域の課題解決に取り組んでいます。そのような連携事例の中から、他のモデルとなるような、優れた事例を「ちばコラボ大賞(千葉県知事賞)」として表彰しています。

## 表彰事例

### 表彰事例1

[運営主体団体:特定非営利活動法人せんなり村]

人と人とのつながりや、心の関わりを大切にした地域  
交流拠点事業  
～こどもを中心に繋がる地域の輪～

### 表彰事例2

[運営主体団体:特定非営利活動法人リンク]

みんなの心のよりどころ「ホツとステーション」

### 表彰事例3

[運営主体団体:千葉県立茂原高等学校 Team茂高街塾]

茂原七夕まつり70thゴミ減プロジェクトwith  
ペットボトルキャップリサイクルで“未来を変える  
Capoon!!”企画・製造・販売  
～住み続けられる街づくりとサーキュラーエコノミー  
の実現を目指して～

## プログラム

14:10 事例発表会

・表彰事例発表

- ① 特定非営利活動法人せんなり村
- ② 特定非営利活動法人リンク
- ③ 千葉県立茂原高等学校  
Team茂高街塾

15:10 講評・講演

ちばコラボ大賞審査委員長  
千葉工業大学  
鎌田元弘教授

15:40 交流会

表彰事例の受賞団体、  
参加者との交流会

## 会場・対象者

会場:ホテルプラザ菜の花  
3階会議室(菜の花)

対象:どなたでも

《問合せ先》 千葉県環境生活部県民生活課県民活動推進班 (担当:岡本)  
TEL:043-223-4147 E-mail:npo-vo@mz.pref.chiba.lg.jp



## 表彰事例1

人と人とのつながりや、心の関わりを大切にした  
地域交流拠点事業  
～こどもを中心に繋がる地域の輪～



【運営主体団体：特定非営利活動法人せんなり村】

NPO法人、幼稚園、自治会、企業・団体、大学、行政が連携し、地域の幼稚園の園庭を活用したこども食堂や居場所づくりに取り組んでいます。周囲との連携や協力体制を築き、乳児から高齢者までの誰もが安心して訪れやすい拠点を目標として、地域の中で人と人との心が繋がる新たなコミュニティを創出しています。

【保健・医療・福祉、子どもの健全育成】

## 表彰事例2

みんなの心のよりどころ「ホッとステーション」



【運営主体団体：特定非営利活動法人リンク】

山武圏域・千葉県内の多様な機関・団体と協同し、いたるところに『気軽に居てもいい』居場所（ホッとステーション）を設置。市町村の枠を越えて地域の誰もが活用できるとともに、協同機関同士のネットワークや相互連携が図れる、人と社会が共に繋がる地域社会の実現を目指す取組です。

【保健・医療・福祉、まちづくり】

## 表彰事例3

茂原七夕まつり70thゴミ減プロジェクト  
withペットボトルキャップリサイクルで“未来を変える  
Capoon！！”企画・製造・販売  
～住み続けられる街づくりとサーキュラーエコノミー  
の実現を目指して～



【運営主体団体：

千葉県立茂原高等学校 Team茂高街塾】

学校、商工団体、企業、行政が連携し、茂原七夕まつりのごみ問題解決に向けた、ペットボトルキャップを再生利用したリユースできるスプーン“未来を変えるCapoon（キャプーン）!!”の企画・製造・販売、分別ごみ箱の制作・設置。七夕祭りのごみを減らし、住み続けられる街づくりとサーキュラーエコノミーの実現を目指す取組です。

【環境保全・子どもの健全育成】

## 会場詳細

日時：令和6年12月12日（木曜日）14：10～16：50

会場：ホテルプラザ菜の花 3階会議室（菜の花）（千葉市中央区長洲1丁目8-1）  
（JR本千葉駅から徒歩3分）

定員：80名（先着順）

申込方法：12月6日（金）までにちば電子申請サービスから  
申込みください。

※当日、手話通訳や車いす利用その他支援が必要な方は  
12月6日（金）までにチラシ表面の問合せ先までお申し出ください。

※事例発表・交流会に先立ち、13:30から4階槇の間で  
表彰式（賞状授与及び記念写真撮影）を行います。  
表彰式は見学自由・申込み不要です。

事例発表・交流会  
申込みQRコードはこちら

